

令和5年度 障害福祉サービス事業者等 集団指導講習会（個別編）

居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護

横須賀市民生局福祉こども部指導監査課

説明する項目

- 1 特定事業所加算の算定について（再確認）
- 2 令和4年度実地指導において頻出した指導事項

1 特定事業所加算の算定について (再確認)

特定事業所加算の算定について（再確認）

- 良質な人材の確保とサービスの質の向上を図る観点から設けられた加算
- 要件や留意事項の再確認

特定事業所加算の概要

加算の種類	加算の内容	加算の要件（次ページ）
特定事業所加算 I	所定単位数の20%を加算	①～③のすべてに適合
特定事業所加算 II	所定単位数の10%を加算	①・②に適合
特定事業所加算 III	所定単位数の10%を加算	①・③に適合
特定事業所加算 IV	所定単位数の5%を加算	①・④に適合

加算の主要要件

要 件	主な内容
① サービス提供体制の整備	研修の計画的実施、情報の的確な伝達 など
② 良質な人材の確保	介護福祉士の割合が30%以上 など
③ 重度障害者への対応	区分 5 以上の利用者及び喀痰吸引等を必要とする者が30%以上
④ 中重度障害者への対応	区分 4 以上である者及び喀痰吸引等を必要とする者が50%以上

※詳細な要件は、各自でご確認をお願いします。

サービス提供体制の整備

(要件①：加算Ⅰ～Ⅳ共通)

- 1 計画的な研修の実施
- 2 会議の定期的な開催
- 3 文書等による指示・サービス提供後の報告
- 4 定期的な健康診断の実施
- 5 緊急時における対応方法の明示
- 6 熟練した居宅介護従業者の同行による研修

留意事項 1 計画的な研修の実施

すべての居宅介護従業者（登録型の居宅介護従業者を含む）ごとに研修計画を作成し、その計画に従い研修（外部における研修を含む）を実施（予定）していること

【研修計画に定めるべき内容】

- 居宅介護従業者の資質向上のための研修内容の全体像と、研修実施のための勤務体制の確保
- 個別具体的な研修の目標、内容、研修期間、実施時期等

留意事項 2 会議の定期的な開催

留意事項の伝達又は居宅介護従業者の技術指導を目的とした会議を定期的に行うこと

【会議の開催について】

- 会議は、すべての居宅介護従業者が参加し、概ね1月に1回以上開催してください。（全員が一堂に会さなくても、個別／グループ別／オンライン等の開催も可能）
- 会議の開催状況について、その概要を記録してください。

留意事項3 文書等による指示・サービス提供後の報告

サービス提供に当たって、サービス提供責任者が、居宅介護従業者に対し、担当する利用者に関する情報やサービス提供に当たっての留意事項等を文書等の確実な方法により伝達してから開始するとともに、サービス提供終了後、担当する居宅介護従業者から適宜報告を受けること

【利用者に関する情報やサービス提供に当たっての留意事項等について】

少なくとも、次の事項について、その変化の動向を含めて記載（④以外は、変更があった場合）してください。

①利用者のADLや意欲、②利用者の主な訴えやサービス提供時の特段の要望、③家族を含む環境、④前回のサービス提供時の状況、⑤その他の必要事項

留意事項 4 定期的な健康診断の実施

すべての居宅介護従業者に対し、健康診断等を定期的に実施すること

【健康診断の実施について】

- 少なくとも1年以内ごとに1回、事業主の費用負担により実施してください。
- 労働安全衛生法により定期に実施することが義務付けられた「常時使用する労働者」に該当しない従業者も含めて実施してください。

留意事項 5 緊急時における対応方法の明示

緊急時の対応方法が利用者に明示されていること

【利用者への明示の方法について】

事業所の緊急時等の対応方針、緊急時の連絡先及び対応可能時間等を記載した文書（重要事項説明書等）を利用者に交付し、説明を行ってください。

留意事項 6 熟練した居宅介護従業者の 同行による研修

新規に採用したすべての居宅介護従業者に対し、熟練した居宅介護従業者の同行による研修を実施していること

【熟練した居宅介護従業者について】

- サービス提供責任者
- サービス提供責任者と同等と認められる従業者（担当する利用者の障害特性を理解し、適切な介護を提供できるものであり、かつ、サービスについてその利用者から十分な評価がある者）

【重要】加算の算定について

1. 加算を算定する場合は、事前にすべての利用者に対して十分な説明を行い、同意を得なければなりません。特定の利用者のみ加算を行わない、という取扱いはできません。
2. 常に算定要件を満たしている必要があります。
 - 要件に該当しない場合は、翌月から加算を算定することはできません。
 - 要件に該当しないことが判明した時点で、「加算の取下げ」または「加算区分の変更」の届出を行ってください。

2 令和4年度実地指導において 頻出した指導事項

令和4年度実地指導において頻出した 指導事項

居宅介護計画に派遣される従業者の種別が記載されていない。

＜留意事項通知（平18障発1031001 第二の2(1)①）＞

居宅介護の提供に当たっては、指定障害福祉サービス基準に定める具体的なサービスの内容を記載した居宅介護計画に基づいて行われる必要がある。なお、居宅介護については、派遣される従業者の種別により所定単位数が異なる場合があることから、**居宅介護計画におけるサービス内容の記載に当たっては、派遣される従業者の種別についても記載すること。**



しかしながら、作成されている居宅介護計画に従業者の種別を記載していない事業所が多くありました。

サービス区分及び居宅介護従業者の資格要件ごとの所定 単位数等の取扱いについて **1** <留意事項通知（第二の2(1)⑨）>

資格等種別		所定単位数の割合				
		身体介護中心型	通院等介助 (身体介護を伴う場合)	家事援助中心型	通院等介助 (身体介護を伴わない場合)	通院等乗降介助
課程修了者等 初任者研修	介護福祉士	100%				
	実務者研修修了者					
	居宅介護職員初任者研修 課程修了者					
課程修了者等 基礎研修	障害者居宅介護従業者 基礎研修課程修了者	70%		90%		
	実務経験を有する者（※1）					

（※1）平成18年3月31日において身体障害者居宅介護事業、知的障害者居宅介護等事業又は児童居宅介護等事業に従事した経験を有する者であって、都道府県知事から必要な知識及び技術を有すると認める旨の証明書の交付を受けたものをいう。

サービス区分及び居宅介護従業者の資格要件ごとの所定 単位数等の取扱いについて 2

<留意事項通知（第二の2(1)⑨）>

資格等種別		所定単位数の割合				
		身体介護中心型	通院等介助 (身体介護を伴う場合)	家事援助中心型	通院等介助 (身体介護を伴わない場合)	通院等乗降介助
	重度訪問介護従業者 養成研修課程修了者	(※2) 3時間未満：重度訪問介護の100% 3時間以上：635単位+30分増すごとに86単位			90%	
旧外出介護研修修了者	視覚障害者外出介護従業者 養成研修修了者	—	70%	—	90%	
	全身性障害者外出介護従業者 養成研修修了者					
	知的障害者外出介護従業者 養成研修修了者					
	生活援助従事者研修修了者	—	—	100%		—

(※2) 重度訪問介護従業者養成研修課程修了者であって、身体障害者の直接支援業務の従事経験を有する者が従事した場合

居宅介護計画への従業者種別の記載例

【サービス内容】

	援助項目	時間	サービスの内容	留 意 事 項
サービス 1				
種類	<div><div><input checked="" type="checkbox"/> 身体介護</div><div><input type="checkbox"/> 家事援助</div><div><input type="checkbox"/> 重度訪問介護</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 通院等介助(身体介護を伴う)</div><div><input type="checkbox"/> 通院等介助(身体介護を伴わない)</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 通院等乗降介助</div><div><input type="checkbox"/> 行動援護</div><div><input type="checkbox"/> 同行援護</div></div>			<div>介護者種別</div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> 介護福祉士</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 実務者研修修了者</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 居宅介護職員初任者研修課程修了者</div><div><input type="checkbox"/> 障害者居宅介護従業者基礎研修課程修了者</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> ()</div></div>

※こちらは記載例ですので、必ずこの通り記載しなければならないというわけではありません。各事業所で使用している計画様式や従業員の種別の実態に合わせて明示してください。

ご視聴いただきありがとうございました。